

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島威夫

事業名：一般国道4号 東埼玉道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局
起終点：自：埼玉県八潮市八条 至：埼玉県吉川市川藤	延長：5.7km	
事業概要 東埼玉道路は、東京外かく環状道路と接続し、東京周辺に流出入する交通を分散する機能を有する延長17.6kmの地域高規格道路である。このうち、平成元年度に事業化された八潮市～吉川市L=5.7kmは、東埼玉道路沿線に計画されている「越谷レイクタウン特定土地区画整理事業」等を支援し、地域の活性化に大きく寄与するとともに、越谷市、草加市、吉川市など周辺地域の交通混雑を緩和することを目的とした2車線の道路である。		
H元年度事業化		S63年度都市計画決定
全体事業費：420億円		事業進捗率：83%
計画交通量：8,000～14,000台/日		供用済延長：0.0km
費用対効果分析結果 B/C：(事業全体) 1.7 (残事業) 13.1	総費用：(残事業)/(事業全体) 57/435億円 (事業費：29/407億円) (維持管理費：28/28億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 749/749億円 (走行時間短縮便益：651/651億円) (走行費用減少便益：71/71億円) (交通事故減少便益：27/27億円)
基準年：平成15年		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保(混雑時平均旅行速度が20km/h未満の区間の旅行速度改善が期待される) ・個性ある地域の形成(越谷レイクタウン特定土地区画整理事業の支援が見込まれる) 他11項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 東埼玉道路建設促進期成同盟会(会長 越谷市長)：整備促進を要望		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 越谷レイクタウンが平成19年春のまちびらき、JR武蔵野線新駅が平成19年度の開業を予定しており、平成16年度には埼玉・国体が開催予定である。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度供用予定		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成16年度供用予定		
施設の構造や工法の変更等 東埼玉道路では、水路及び縁石の施工でスリップフォームを採用し、コスト縮減を図っている。		
対応方針：事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。